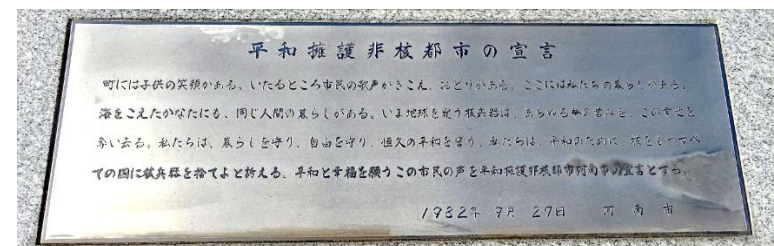


## ● 「平和祈念の塔」(愛称「平和のゆりかご」)の概要

デザイン設計 江川 正治氏 (宝田町)

- 平和を祈念する意味で、広島の被爆の石を2ヵ所に設置。1個は「石碑」に、今1つは「平和の使者、鳩のとまり台」に。全体として本体を3つのみかげ石の台(橋の形)の上に設置しています。
- 阿南市の宣言文(銅板彫り込み文字)を正面に埋め込み、中央に鳩を3羽、後方に平和のシンボル「平和祈念の塔」の銘を配置。
- シンボル塔は、阿南市の宣言文の要旨「暮らしを守る、自由を守る、恒久平和」の3つの趣旨を3つの台及び3面体(三角錐)に表現しています。
- デザインとして「赤ちゃんのゆりかごをモチーフ」し、意味は童心・無心等やすらかに和らぐ心から平和につなぐ意味が込められています。
- シンボル塔のマークとして、広島の原爆投下の8月6日、長崎の原爆投下の8月9日を合体させ、図案化したものです。8月の8は末広がり、また、∞(無限大)に総称して世界の恒久平和を願ったものです。

なお、8の字の下部の0(6)に広島の被原爆の石を、上部の9の字の0には長崎の被原爆の石が埋め込まれています。



「平和祈念の塔」書は、阿南市長・吉原 薫氏

「被原爆の石」書は、奥田 勝氏(被爆者)

「平和擁護・非核都市宣言文」書は、宮本啓子氏